

協定校留学帰国報告書

記入日	29 年 1 月 24 日
所属	人文学部人文コミュニケーション学科異文化コミュニケーションコース
学年	2 年次
留学先大学	静宜大学
留学開始・終了時期	28 年 9 月 ~ 29 年 1 月 (留学開始時期 2 年次) (4 カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
高校の時から留学をしたいと思っていたが、勇気がなくて行かずに後悔したので、大学ではどこかに留学しようと思っていたため。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
英語圏に行こうと思っていたが、検定のレベルなどが厳しかったので、未修外国語として学んでいた中国語を上達させに行こうと考えた。また、静宜大学は多くの協定校と提携を結んでおり、アジアにいても英語が話せると思ったから。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
静宜大学は TOEFL を受ける必要がなかったので、授業の中国語をまじめに受けたり、Facebook で見つけた自分の趣味に関する記事を翻訳したりするようにしていた。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうがいいことがあれば教えてください。
とれる単位は事前にとっておいたほうが帰国後卒業できるかという不安は軽減されると思います。私は 2 年前期でとれるだけとりましたが、後期の必修を 3 年後期に受けることになるので不安です(笑) 私は留学期間中にコース決定とゼミの希望調査があったのですが、留学前に自分の興味のあるゼミの先生に話を聞きに行くことをおすすめします。これも、理由の 1 つは不安軽減のためです。日本にいる人たちは今頃調査しているんだろうと考えると不安は募るので。万が一、定員漏れしてしまった場合に先生に自分の意思を伝えておけば、留学期間日本にいなくても採用される可能性もあるかもしれませんね。
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 (○) b. 個人の保険のみ () c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ()
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい (○) 具体的に：麻疹風疹 b. いいえ ()

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

中国語毎日 2 時間、実用ビジネス中国語 2 時間、近代台日経済史、台湾語概論、台湾の歴史と文化、日中翻訳理論。

中国語の授業以外は週 1 回 2 時間 2 単位です。

実用ビジネス中国語は中国語で授業を行い、状況に応じた実用的な会話を学びます。

近代台日経済史は日本語での授業であり、日本と台湾が経済的にどのように関わっているかを学びます。

台湾語概論は中国語と日本語で授業を行いますが、主に台湾語の音読を先生のあとに続いてします。台湾の歴史と文化は中国語と日本語で授業を行います。台湾の文化が日本統治時代という歴史の影響を受けて形成されたことについて学びます。

日中翻訳理論は、中国語を日本語に翻訳する授業です。

② 授業履修の際に、注意したほうが良いことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

日本の授業と同様、シラバスをよく見ることです。実際に受けてみたら自分の学びたかったことと違うということがありました。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

時間のあるうちに課題に取り組むことだと思います。台湾は日本以上にレポートの提出をよく求められるので、余裕のあるうちに終わらせたほうが負担は少しでも減らせます。無駄にストレスを作らないようにしたり、睡眠時間を確保できるようにしたりするという点では、これは健康管理の 1 つかもしれません。

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか

大学周辺は学生のアパートが多いです。台湾は外食が主流なので、飲食店が近くにたくさんありました。また、大学の隣では夜市が開かれ、人が賑わっています。歩いていて見かけるのはほとんど学生で、治安は比較的いいと思います。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮 (○) : 何人部屋でしたか (4 人)
- b. アパート () : 何人部屋でしたか (人)
- c. ホームステイ () : 何人部屋でしたか (人)
- d. その他 () 具体的に :

③ 住環境はどうでしたか。

トイレとシャワールームがフロアで共同でした。日本と比べるからかもしれませんが、毎日数回消毒しているとはいえあまり清潔感があるとは言えず、初めは使用に抵抗を感じていましたが、慣れると何も思いません。私の周辺の部屋はゴキブリやイモリが出たことがありますが、私の部屋では出ませんでした。カビに困りましたが、住み続けるうちに部屋の居心地がよくなります。1 人分の

スペースが限られているなかで収納にはかなり長けていたので過ごしやすかったです。

④ 食事はどうしましたか。

- a. 大学・寮のミールプラン ()
- b. 主に外食 (○)
- c. 自炊と外食が半々程度 ()
- d. その他 () 具体的に：

⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

ルームメイトとは積極的に会話をしていました。日本人が周りに多かったため、外国人留学生と交流する機会があったのは中国語のクラス、台湾人学生と交流するのは、日本語学科の授業ボランティアとサークル活動でした。私は主にサークルに行くことで台湾人の中に飛び込んでいきました。

⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

長期休みは台北や高雄など大学から離れた都市に旅行へ出かけました。台湾人と行くこともあれば、中国語の力試しのために日本人だけで出かけることもありました。週末になると1日は市内で遊び、もう一日は平日勉強時間が足りていない分、部屋で復習や課題をしていました。休憩の合間に、友達に勧められた映画を見たり、日本のドラマを中国語字幕で見たりしていました。

⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

やはり見知らぬ土地なので、一人で出かける時は暗くなる前に帰ることだと思います。昼と夜とでは街の雰囲気は変わるので、昼間安全な場所が夜も安全だとは限りません。健康管理に関しては、留学にきた当初は現地の気候に慣れず、1か月間風邪を繰り返していました。そこを考慮していなかったのも、思ったよりも薬の服用が多かったイメージです。よく使いそうな薬に関しては多めに持って行ったほうがいいと思います。

⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

私が留学に行ったのは夏だったので、エアコンが必要不可欠でした。したがって、南国出身のルームメイトとエアコンをつけるかつかないかで問題がおこりました。話す勇気が必要ですが、直接話し合っ解決することが大事だと思います。今ではそれも懐かしい思い出です。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	42000	円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	37710	円
住居費(寮費)光熱費等含む(月額)	9850	円
食費(月額)	10000	円
その他		円
総額(留学期間中の費用総額)	30万円前後	

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。

a. () 4年で卒業予定

b. () 卒業は延期する予定(延長予定期間:)

② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)

秘書検定3級を取得しました。

日本語教育のボランティアを普段は学内で、一度だけ高雄に行って行いました。

これからの予定としては、中国語検定を受けたいと思っています。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

台湾は距離だけでなく環境も日本と近い部分が多く、しかしまったく違う部分もあったので面白い場所でした。私は台湾の一般の大学生のような生活をして日本との違いを見つけようという目標を掲げて留学生生活を過ごしました。昼間は勉強して夜はサークルに行き終わったらみんなでご飯に行くという日常でさえも楽しかったから、留學生のように週末は台湾各地に遊びに行ってお台湾を知る生活はもっと楽しいのだろうと思います。正直に言うと、体がもっとたくさんあったらいいのにと何度も思いました。それくらい充実した4か月でした。欲を言うなら、半年留学というからにはあと2か月分の時間がほしかったです。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

外国語を話すことに対する自信がついたと思います。自分ではあまり実感していませんが、留学当初に話して以来会っていなかった友人に帰国直前に会った時、話すことを恥ずかしがっていた來台当初とまったく違うと言われました。きっと自分の変化に気が付かないくらい生活の中で自然に身につけていったのだと思います。また、現在 LGBT が社会の課題の1つとなっていますが、台湾ではそれにあたる人たちが日本よりも多く、数名友達にもなったので以前よりも受け入れられるようになりました。性格において、よくも悪くも人に対してははっきり言うようになったと思います。日本は「普通」とか「どっちでもいい」と言ってその場を適切に処理できますが、台湾では賛否をはっきりさせることが日常でも求められます。だから、これから日本でまた人と関わる時は、少し考えなくてはいけませんね(笑)

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

先輩から引き継いだ言葉ですが、迷ってるなら行くべきだと思います。台湾なら特にそう思います。静宜大学は日本人留學生が多くてホームシックになりにくいという長所の半面、日本語に甘えて中国語の上達が遅いという短所もあります。だからこそ、自分でそこをコントロールして、あえて台湾人の中に一人で飛び込んで行ったり、日本語学科の台湾人とも中国語を話すようにしたりすることで自己管理能力や、忍耐力も身につくと思います。アジアだからアジア人の友達しかできない、ということもなく、案外欧米諸国から来ている学生も多いので、英語圏に行きたいけど検定の点数が足りないという人は協定校の候補に入れるのもありだと思います。留学は準備段階から帰国まですべてにおいて成長できると思います。最後にもう一度言いますが、迷ってるなら行くべきだと思います。